

美術史・文化遺産特殊講義2C－Ⅱ

科目ナンバリング FAH-204
選択必修 2単位

三宅 秀和

1. 授業の概要(ねらい)

伊藤若冲や曾我蕭白、円山応挙や池大雅など、多彩な画家・画風を生み出した18世紀の京都画壇をとりあげる。授業では、毎回、当該期の人気画家や作品に関する重要な論文、最新の研究などを詳しく解説し、受講生が美術史の様々な研究方法について知ることを目的とする。さらに、18世紀の京都画壇の特質や、それを生み出した歴史的背景、受容者の美意識について考察する。こうした諸知識をふまえて、受講生にこの時代の作品の読み方を伝えたい。

2. 授業の到達目標

受講生が、絵画資料の多角的な研究方法について知ること。絵画資料のディスクリプション(作品を言葉で描写すること)ができるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験(80%)と平常点(展示見学会への参加、リアクションペーパーの質など)(20%)をもとに評価する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

積極的に美術館、博物館に行き、実物をよく観察すること。必要な論文を入手すること。

6. その他履修上の注意事項

授業で展覧会見学会を行うことがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容と進め方の説明
- 【第2回】 18世紀の京都画壇を生み出した歴史的背景
- 【第3回】 鶴沢派と石田幽汀
- 【第4回】 南蘋派の流行
- 【第5回】 円山応挙①
- 【第6回】 円山応挙②
- 【第7回】 長沢芦雪
- 【第8回】 伊藤若冲①
- 【第9回】 伊藤若冲②
- 【第10回】 曾我蕭白①
- 【第11回】 曾我蕭白②
- 【第12回】 池大雅①
- 【第13回】 池大雅②
- 【第14回】 展覧会見学会
- 【第15回】 まとめと試験